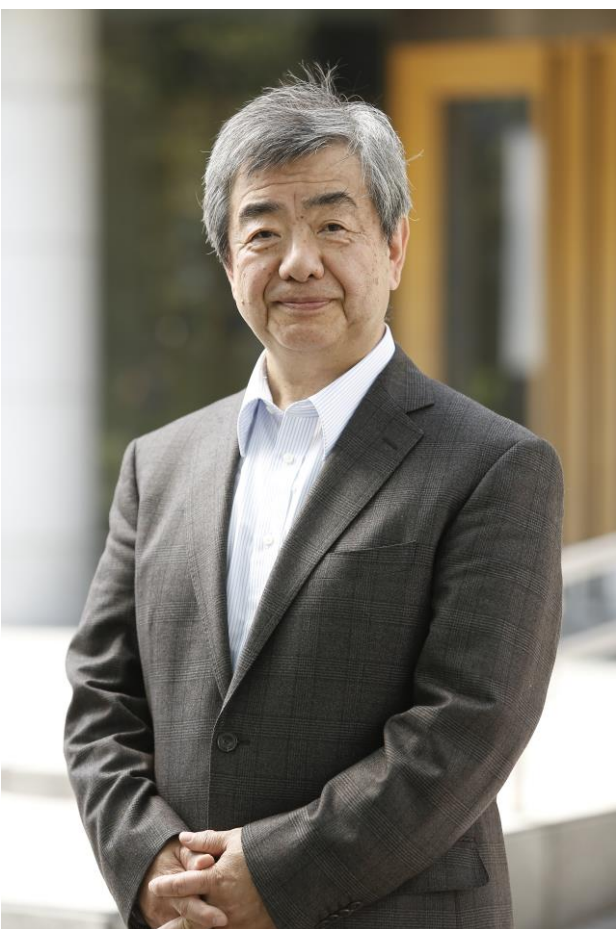


実践的質的研究法としての M-GTA入門

講師:木下康仁先生

(聖路加国際大学大学院看護学研究科特任教授)



内容 紹介

M-GTA(修正版グラウンデッド・セオリー・アプローチ)は、グラウンデッド・セオリー・アプローチという質的分析手法を基盤に、研究論、認識論、技法を緻密に修正し、より実践的な研究法として進化させました。この手法はヘルスケア、教育、社会政策など、多岐にわたる分野で幅広く応用されています。今回はM-GTAの開発者である木下康仁先生をお招きし、M-GTAの基礎と応用についてお話をうかがいます。木下先生の豊富な知識と経験を通じて、M-GTAがどのように現場で役立つかについて深く探求していきます。

形式

オンラインセミナー

Zoom配信(関係者限定)

※ヒューマン・ケア科学/パブリックヘルス学位プログラムに所属する大学院生・教員限定のセミナーとなります。

日時

7月11日(火)
18:00~20:00



申込

参加費は無料です。7月7日までに参加希望を下記Googleフォーム(QRコードからもたどれます)から、ご氏名、ご所属、お立場、e-mailアドレスを入力して送信ください。開催前にe-mailアドレスまでZoomリンクをお知らせします。(多くの方にお申し込みいただいた場合、ご遠慮いただく可能性があります)

<https://forms.gle/h2UWNcuWEgL21V9T8>

木下康仁先生 プロフィール
聖路加国際大学大学院看護学研究科特任教授、立教大学名誉教授。

1953年山梨県小菅村生まれ。1984年カリフォルニア大学(サンフランシスコ校)人間発達・エイジング研究科博士課程修了(Ph.D)。専門は、社会老年学、福祉社会論、質的研究法(とくに、修正版グラウンデッド・セオリー・アプローチ、M-GTA)

著書は『老人ケアの人間学』医学書院、1993。『ケアと老いの祝福』(勁草書房、1997)

『グラウンデッド・セオリー・アプローチの実践:質的研究への誘い』(弘文堂、2003)など多数。